

2026 年 7 月 29 日
日本フォレスト株式会社
代表取締役 森山 和浩

木質廃棄物の有効利用に関する協定を締結

～地域伝統産業の持続的発展と、資源循環型社会の実現を目指して～

日田市長（棕野美智子）立ち合いのもと、日本フォレスト株式会社（本社：大分県日田市、代表取締役：森山和浩）と小鹿田焼協同組合（所在地：大分県日田市、理事長：坂本工）は、国指定重要無形文化財である伝統産業「小鹿田焼」の焼成用燃料として、木質廃棄物を永続的に活用するための連携協定を締結いたしました。

日 程：2026 年 7 月 29 日（水）11:00 より

場 所：日田市役所 本庁舎

締結式：小鹿田焼協同組合

日本フォレスト株式会社

立会人：日田市

理事長 坂本 工 様

代表取締役 森山 和浩

日田市長 棕野 美智子 様

■ 協定締結の背景と目的

日田市の伝統的産業である「小鹿田焼」は、窯の温度を上げるための「乾燥材」などの燃料確保が不可欠ですが、従来の供給源だけでは長期的な安定供給に課題が生じていました。一方、日本フォレストは家屋解体材などの豊富な木質資源を保有しており、これらを地域の宝である伝統文化の継承に役立てたいという想いから、今回の協力体制が実現しました。

本協定は、両者が連携して木質廃棄物を燃料資源として永続的に活用することで、小鹿田焼の持続的発展と次世代への安定的な継承を図り、地域産業の活性化に貢献することを目的としています。

■ 連携内容と運用フロー

- ・日本フォレストが供給する木質資源（柱・梁など）を、小鹿田焼の窯の燃料として活用します。
- ・高品質な燃料供給：釘以外の異物がない解体材を厳選し、燃料として最適な状態で供給
- ・柔軟な配送体制：組合側の必要量に応じ、日本フォレストのトラック等を用いて、各窯元へ配送
- ・地域への貢献：伝統文化ブランドとの協業を通じて、地域の森林資源の循環を促進

■ 今後の展望

日本フォレストは、本プロジェクトを通じて自社の木質資源が日本のシンボルである小鹿田焼という伝統文化に貢献することを名誉とし、利益を目的としない協力体制を構築します。両者は、この資源循環モデルが地域経済の活性化と、持続可能な伝統産業の新しい形となることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

日本フォレスト株式会社：大分県日田市諸留町 2813-22

小鹿田焼協同組合：大分県日田市源栄町皿山 176